

関東農政局長賞

受賞者 とくていひ えいりかつどうほうじん 特定非営利活動法人 くわ げんきフォーラム桑
(栃木県小山市)

【みんなの愛が元気の源！みんなで創る桑の未来!!】

1 取組の動機と背景

特定非営利活動法人げんきフォーラム桑が活動する小山市桑地区は、古くから養蚕業が盛んで「本場結城紬」を支えてきた地域であるが、かつて桑地区にあった150戸(S58)の養蚕農家は、現在6戸にまで減少している。

そのような状況において、平成23年に小山市が取り組む「わがまちげんき発掘推進事業」が桑地域で行われ、地域活性化と市民パートナーシップの推進について話し合いが行われた。その中で「地域の主要農産物であった桑を使った活動」が提案され、このことを具体的に話し合った結果、地域に密着した事業の推進と、地元の農作物を使った商品の開発、販売による生きがいの創出を進めることとなり、「桑げんき発掘推進協議会」が設立された。

地域全体の活性化や問題解決には、より地域に密着した事業の推進が必要であることから、協議会員と住民との勉強会や意見交換会を経て合意形成を進めるとともに、地域住民を主役とすることで愛着ややりがいをもって活動できるような活動体制・組織を目指し、平成29年7月に「特定非営利活動法人げんきフォーラム桑」として新たに設立した。

2 主なむらづくりの内容

- 法人内に地域の農業者等で組織した「地域開発・生産部会」を設置し、耕作放棄地を借り入れ、桑のほかえごまや金ごま、玉ねぎ等を栽培。6次産業化の検討も行いつつ、地元農業高校と連携した桑の実ジャムの開発のほか収益力の高い商品として「えごま油」を製造・販売。収益は会員へ手当として支給。
- 生活条件の改善と地域コミュニティ強化のため、平成30年度に「地域たすけあい隊」を組織。地域の独居老人や高齢者の世帯に対し、食事作りや買い物などの家事援助、子育て世代には託児や子どもへの学習支援など、女性会員の活躍により地域住民の生活を支援。
- 地元土地改良区から「大沼」の維持管理、地域の歴史を伝える「摩利支天塚・琵琶塚古墳資料館」の管理・ガイド業務、「小山市桑市民交流センター(マルベリー)」の管理業務を受託し、安定した法人経営に寄与。
- 管理業務を通じて地域の歴史と伝統を継承するガイドに力を入れるとともに、「勾玉づくり体験」や「大沼桜まつり」などのイベントを企画し、都市住民と交流。



「桑の実」の収穫



えごま加工品「えごま油」



「地域たすけあい隊」チラシ



「金ごま」の収穫